

	<p>A. 昇天において、キリストは神の右に座している方です： ヘブル 1:3 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の明確な方たちであって、彼の力ある言葉によって、万物を維持し担っておられます。そして、罪のきよめを成し終えてから、高き所の威光ある方の右に座られました。</p>	<p>1. 「神の右」は首位、すなわち尊い第一の場所を表徴します。 2. 神の右は、宇宙における第一で最高の場所です。神は昇天したキリストをそこに置いて、全宇宙における首位と最高の尊貴をキリストに与えました。 ヘブル 8:1 今私たちが言っている事の要点はこうです。私たちにそのような大祭司がおられ、彼は天で威光ある方の座の右に着き、</p>
<p>I. 「こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます」： コロサイ 3:1 こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。</p>	<p>B. 神は私たちが死の地位から救っただけではありません。彼はまた私たちがキリストと共に、宇宙における最高の場所に座らせました： エペソ 2:5 私たちが違犯の中で死んでいた時、私たちがキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、6 キリスト・イエスの中で、私たちが彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。</p>	<p>1. 神はキリストの中で、私たちがみな、一度で永遠に、天上で座らせました。 2. この事は、キリストが天に昇天したときに達成されました。そしてそれは、私たちが彼を信じてから、キリストの霊によって私たちに適用されています。 3. 今日私たちはこの実際を私たちの霊の中で、達成された事実を信じることを通して、認識し経験します。 エペソ 2:8 なぜなら、あなたがたが救われたのは、恵みにより、信仰を通してであって、これは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物であるからです。 I ペテロ 1:8 あなたがたは、その方を見たこともないのに愛しており、その方を今、見ていないのになお信じており、言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歓喜しています。 ヘブル 11:1 さて信仰とは、望んでいる事柄を實體化することであり、見ていない事柄を確認することです。</p>
	<p>C. 上にあるものとは天にあるものであり、地にあるものと相対します：</p>	<p>1. 上にあるものは、昇天したキリスト、また彼と関係があるすべてのものを含みます。 2. 地にあるものは、文化、宗教、哲学、振る舞いの改善を含みます。 コロサイ 2:8 だれもあなたがたを、哲学とむなしいだましごとによって、とりことして奪い去ることのないように、気をつけなさい。それは人々の伝統にしたがうものであって、キリストにしたがってはいないのです。</p>
	<p>D. 私たちは上にあるものを求めるために、これらのものがある所にいなければなりません。私たちが昇天におけるキリストと一つの地位を持っているので、上にあるものを求めることができます。エペソ 2:6 キリスト・イエスの中で、私たちが彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。</p>	
	<p>E. 新約によれば、上にあるものはキリストの昇天、御座に着くこと、彼がかしら、主、キリストとされることを含みます：</p>	<p>1. 使徒第 2 章 36 節は、神はイエスを彼の昇天において主またキリストとされたと言います。彼は万民の主とされ、万物を所有しました。彼はキリスト、神の油塗られた方とされて、神の使命を完成します。 使徒 2:36 こういうわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主またキリストとされたのです」。</p> <p>a. 「召会に」は一種の伝達を暗示します。 b. かしらであるキリストが到達し獲得したものは何であれ、彼のからだである召会に伝達されます。 c. この伝達の中で、召会はキリストと彼のすべての到達したものを分かち合います。それは、死人の中からの復活、彼が超越の中で座らせられたこと、万物を彼の足の下に服従させること、万物の上の頭首権です。 エペソ 1:19 また神の力強い大能の活動にしたがって、信じる私たちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。20 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、21 すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました。22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。</p> <p>3. 主イエスは栄光と尊貴を冠として与えられました。彼は幕の内側の栄光への道を切り開いた開拓者であり、また先駆者です。彼は、大祭司、また真の幕屋の奉仕者です。彼は御座に着いた方として、神の永遠のエコノミーにしたがった神の行政の中心です。 4. そのようなものが、上にあるものです。私たちが自分の思いを、上にあるものに置くべきです。 5. 上にあるものを求めることは、天の務めにおけるキリストの活動に応答し、それを反映することです。</p>

<p>II. 上にあるものを求め、自分の思いを上にあるものに置くために、私たちは私たちの霊に戻り、魂を霊から切り離すことを経験する必要があります： ヘブル 4:12 なぜなら、神の言は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を切り離すまでに刺し通して、心の思考と意図を識別することができるからです。</p>	<p>A. 私たちは霊の中にいるときはじめて、天におり、上にあるものを思います。私たちは霊の外側にいるとき、地的になり、地にあるものを思います： コロサイ 3:2 あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。</p>	<p>1. 上にあるものを求める道は、私たちの霊に戻って主の御名を呼び求めることです。 ローマ 8:16 その霊ご自身、私たちの霊と共に、私たちが神の子供たちであることを、証してください。 10:12 ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。</p> <p>2. 天のキリストから地上の私たちに、私たちの霊の中のすべてを含む霊によって、伝達が起こっています： エペソ 1:19 また神の力強い大能の活動にしたがって、信じる私たちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。 2:22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。</p>	<p>a. 私たちの霊は神聖な伝達を受ける一端ですが、天の神の御座は伝達する一端です。啓 5:6 私はまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があつた。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。</p> <p>b. 私たちは霊に戻ることによって、天に引き上げられます。 啓 4:2 直ちに、私は霊の中にいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。</p> <p>c. 天の神の御座から私たちの霊の中への伝達のゆえに、私たちはこの地上でキリストを経験し享受するとき、同時に天にいます。</p> <p>d. 私たちは霊の中でキリストと一つの地位を持ち、上にあるものを求めています。</p>
	<p>B. 私たちは魂を霊から切り離すことを経験する必要があります： 4. I コリント第 2 章 14 節と 15 節は二種類の人、すなわち魂の人と霊の人について語っています：</p>	<p>1. I テサロニケ第 5 章 23 節は、魂と霊が同じではなく、二つの分離したものであることを見せています。魂と霊の間には大きな違いがあります。 I テサロニケ 5:23 そして平和の神ご自身が、あなたがたを徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体とを守って、私たちの主イエス・キリストの来臨の時に、完全で責められるところのない者にしてくださいように。</p> <p>2. 魂と霊が切り離されることができるのは、それらが二つの実体であり、二種類の実質であるからです。私たちの霊がどれほど私たちの魂の内側に隠されていても、両者はなおも二つの異なる器官です。ですから、私たちは私たちの魂を霊から切り離すことを経験する必要があります。</p> <p>3. 霊は、魂の中に隠されているので、魂から切り離される必要があります。それは、「どんなもろ刃の剣よりも鋭い、神の生きていて効力がある言葉によってです。</p> <p>4. I コリント第 2 章 14 節と 15 節は二種類の人、すなわち魂の人と霊の人について語っています：</p>	<p>a. 魂の人と、魂そのものは、霊の事柄を理解したり受け入れたりすることはできません。 I コリント 2:14 しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。</p> <p>b. 霊の人は霊の事柄を識別し、そして霊の事柄を受け入れることと上にあるものを経験することを喜びます。 I コリント 2:15 しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。</p> <p>c. 霊によって、私たちは霊の事柄を理解し識別します。また霊の中で、私たちは霊の事柄を持つことを願います。</p>
	<p>C. 私たちは自分の魂を霊から切り離すことを経験することによって、また私たちの霊を訓練することによって、上にあるものを求め、上にあるものを思うことができます。そのとき、キリストの天の務めの豊富が私たちの中へと伝達され、私たちは造り変えられ、キリストで構成されます。 ヘブル 7:25 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができます。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。26 このように、聖く、悪巧みがなく、汚れがなく、罪人とは分離しており、天より高くなられた大祭司こそ、私たちにふさわしかったのです。 ローマ 12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。 II コリント 3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。</p>		

経験:①上にあるものはキリストの昇天、御座に着くこと、彼がかしら、主、キリストとされることを含む。私たちは上にあるものを求めることで、新エルサレムを建造することができる
コロサイ 3:1 こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。2 あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。

神として、主は絶えず主でした。しかし人として、彼は復活において彼の人性を神の中へもたらした後、昇天において主とされたのです。神は常に主ですが、今や人が主として御座の上に座しておられます。イエスが十字架につけられて葬られた後、神は彼を復活させて、彼を神の右に座らせ、このナザレ人イエスを全宇宙の主とされました。

キリストの主権は彼の昇天において完全に確立されたので、私たち(かしらであるキリストと一体化された彼のからだの肢体)は、この天的な事実を認識する必要があるだけです。キリストが主権を獲得したことをいったん認識すると、私たち、彼のからだとしての召会は、それを適用しなければなりません。

キリストは昇天において万民の主とされただけではなく、また神のキリストともされました。それは、福音の拡大と召会の建造を成し遂げて、神の選ばれた民が救われ、成就されて、新エルサレムを構成するためです。新エルサレムは、神の新約エコノミーにしたがって神の永遠の住まい、現れとなって、神の永遠の満足となります。

昇天の中にある方としてキリストは、主またキリストとされました。それは、彼が万物を所有するため、また彼の天の務めを通して神の使命を完成して、神のご計画を達成するためです。

在職青年編:

ビジネス・パーソンとして、あなたは地にあるものではなく、上にあるものを求めてください。地にあるものとは、会社における昇進、収入を増やすこと、子供の教育、車やマイホームを購入することなどです。これらのものはすべて、あなたに必要であることを神はご存知です。

マタイ 6:28 また、なぜあなたがたは、衣服について思い煩うのか? 野のゆりがどのように生長するか、よく考えてみなさい。それらは労苦もせず、紡ぎもしない。29 しかし、わたしはあなたがたに言う。栄華を極めたソロモンでさえ、これらの一つほどにも着飾ってはいなかった。30 今日はここにあって、明日は畑に投げ入れられる野の草を、神はこのように装ってくださるのだから、あなたがたにはなおさら、着せてくださらないはずがあるだろうか? あなたがた信仰の小さい者よ、31 こういうわけで、『何を食べようか? 何を飲もうか? 何を着ようか?』と言って、思い煩ってはならない。32 なぜなら、これらの物はすべて、異邦人が切に求めているからである。あなたがたの天の父は、これらの物がすべてあなたがたに必要であることを、ご存じなのである。33 むしろ、まず父の王国と父の義を求めなさい。そうすれば、これらの物はすべて、あなたがたに加えられる。34 こういうわけで、明日のことを思い煩ってはならない。明日は明日自身が思い煩うからである。その日の苦労は、その日だけで十分である。

あなたはこれら生活の必要を思い煩ってはいけません。むしろ、上にあることを思い、すなわち神の王国と神の義、キリストと召会を追い求めてください。神には、彼の心の願いに従ったエコノミーがあり、神はエコノミーのゴールである神の住まい、召会、キリストのからだ、新エルサレムを建造することを願っています。神はあなたを愛し、あなたのために十字架で血を流されました。それは消極面ではあなたが火の池で滅びないためですが、積極面ではあなたがキリストで満たされ、キリストのからだを建造するためです。あなたは神の愛に触れ、神を愛し、神のエコノミーを愛して、上にあるものを求めるビジネス・ライフを持ってください。

経験:②魂を霊から切り離し、また霊を訓練することによって、上にあるものを求める
I コリント 2:14 しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。15 しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。

魂と霊の間には大きな違いがあります。魂は霊から切り離されることができ、また切り離されるべきです。さらに、コリント人への第一の手紙第2章14節から15節は、もし魂が霊によって征服されず霊に服従していないなら、魂が霊に逆らい、霊に反対することを私たちに見せています。…魂の人は天然の人、魂の中に生きている人です。魂は、霊の事柄では完全に無能です。

この二つの節で、私たちは二種類の人を見ることができます。それは魂の人と霊の人です。魂の人と、魂そのものは、霊の事柄を理解したり受け入れたりすることができず、霊の事柄を愚かであると考えます。しかしながら、霊の人は霊の事柄を識別し、そして霊の事柄を受け入れることを喜びます。霊によって、私たちは霊の事柄を理解し識別します。また霊の中で、私たちは霊の事柄を持つことを願います。もし魂的であるなら、私たちは霊の事柄を理解することができず、また霊的なものを何も喜ばず、霊の事柄が愚かであると思えさえます。

コロサイ人への手紙第3章1節と2節でパウロは、上にあるものを求めるだけでなく、上にあるものに思いを置くようにと告げています。…私たちの目を天に上げて、私たちの思いをすばらしい、卓越したもの、上にあるものに置きましょう。…私たちの霊と全存在を天に開き、「スイッチ」を入れ続けることを学びましょう。それは、神聖な発電所からの伝達が、絶えず私たちの中へと流れるためです。

中高生編:

中高生の時から、あなたは自分の霊と魂を識別することと、自分の霊を訓練することを学んでください。魂は、思い、感情、意志から成っています。思いは物事を考え、理解します。感情は愛したり憎んだりします。意志は思いと感情に基づき、決定します。学校ではおもに思いの訓練、すなわち理解力の訓練を行います。しかし召会は、あなたの霊と魂を識別し、霊を訓練することを教えます。霊を訓練すればするほど、霊は強くなって、あなたの霊が魂を支配するようになります。

若い時から霊と魂を区別することを学ぶことはとても重要です。なぜなら主は霊の中でのみ、あなたを供給し、導き、成就し、建造することができるからです。しかしあなたが霊の中におらず、魂の中にいるなら、あなたは主の祝福は愚かなことであると考えてしまいます。神の約束の祝福は、霊の人にとっては偉大な祝福ですが、魂の人にとっては愚かなのです。この大きな違いを理解するなら、あなたは霊と魂を識別することと、自分の霊を訓練することを切実に願うでしょう。

あなたが将来、大学に進学し、その後就職や結婚で大きな決定をしなければならない時が必ず来ます。多くの人は選んではいけなものを選り、大変な混乱の中に自ら進んで落ち込んでしまいます。例えば、会社の中で人事異動があります。上司は社員の成長のためにそのことを決定しました。しかし、魂の中にいる人は、暗闇の中にいるので、洞察力に欠け、複雑で、反逆的になりがちなので、人事異動を決定した上司を恨み、場合によっては会社を辞めてしまいます。このように魂の人は祝福をのろいと誤解し、大混乱に陥ってしまいます。それは彼らが霊と魂を区別し、霊を訓練して状況を理解し、決定しないからです。

霊と魂を区別するために、あなたには神の生きた言葉が必要です。神の言葉は生きていて効力があり、どんなもろ刃の剣よりも鋭く霊と魂を識別することができます。したがって、霊と魂の識別についてあなたは決して自分の能力に頼るのではなく、神の言葉に頼ってください。実行的には、毎朝、主の御名を呼び、御言葉を祈り読みするために、5分から15分を聖別してください。あなたが若い時からこのことを学ぶなら、あなたの前途は大いに祝福されるでしょう。アーメン!

ヨハネ7章のマイルストーン: 渴いている人の必要一命が渴きをいやす

By 神大BSG OB/OG

ヨハネ7:2 時に、ユダヤ人の仮庵の祭りが近づいていた。

37 祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って叫んで言われた、「だれでも渴く者は、私に来て飲むがよい。38 私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。39 イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったから、その霊はまだなかったからである。

仮庵の祭りは収穫の祭りであり、一年の最後の祭りとして人生の完成と成功を暗示します。それには終わりがあり、その結果は人の渴きです。7章37節の祭りの終わりの大いなる日は、人生の成功のクライマックスの日です。それはまた、人生の成功からくる享受には終わりがあることを示しています。

例えば大学祭は学生にとって楽しい時であり、学生はその享受がずっと続くことを願いますが、その享受には終わりの日があります。この時に、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って叫んで言われました、「だれでも渴く者は、私に来て飲むがよい。私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。

また学生は親しい友人と一緒に旅行に行き、楽しい時を過ごします。しかし楽しい旅行にも最後の日があり、旅行の帰りにはなにか虚しい感覚があり、渴きます。人生の成功や享受には必ず、「祭りの終わりの日」があります。そしてその日に人々は渴きます。しかし主に感謝します。あなたは主に来て、生ける水を飲むことができます。あなたはのどが渇くとウォーター・サーバーに来て飲みます。同様に、主は天的なウォーター・サーバーですので、あなたは主に来て飲むことができます。

あなたがこの生ける水を飲むと、あなたの渴きをいやすだけでなく、あなたの内側からあなたを満たし、あなたから川々となり流れ出ます。それは喜びの川、なぐさめの川、励まし、愛の川、力の川などとしてあなたの内側から流れ出ます。それはあなたの周りの人々に喜び、なぐさめ、励まし、愛、力などが流れ出て、彼らの渴きをいやすためです。

彼の中へと信じる者が飲む生ける水はその霊であり、その霊は主イエスが地上におられた時はまだありませんでした。「その霊はまだなかったからである(39節)」について、以下のフットノートを読んでください。

神の霊は初めからありました(創1:1—2)が、キリストの霊としてのその霊(ローマ8:9)、イエスキリストの霊(ピリピ1:19)は、主がこの言葉を語られた時には、まだありませんでした。なぜなら、主はまだ栄光を受けておられなかったからです。イエスが栄光を受けたのは、彼が復活された時です。イエスの復活の後、神の霊は、受肉し、十字架につけられ、復活して、イエスキリストの霊と成りました。キリストが復活した日の夕方、その霊は、彼によって弟子たちの中に息を吹き込まれました。その霊は、今や「別の慰め主」、キリストが死ぬ前に約束された実際の霊です。この霊が神の霊であった時、彼には神聖な要素があるだけでした。彼がキリストの受肉、十字架、復活を通して、イエスキリストの霊と成られた時、その霊は、神の要素と人の要素の両方、それにキリストの受肉、十字架、復活のすべての本質と実際を含んでいました。ですから、その霊は今や、すべてを含むイエスキリストの霊であり、それがわたしたちの受ける生ける水です。

今、主は様々な手順、受肉、人間生活、十字架、復活を経過して、すべてを含む霊、命を与える霊となりました。この命を与える霊が、わたしたちが飲むべき生ける水です。生ける水は今ここにあります。神の側ではすべての準備が整っています。今はあなたの番です。あなたは、単純に彼の中へと信じ、受け入れ、毎日生ける水を飲んで、渴きがいやされることを経験することができるのです!!

イザヤ58:11 エホバは絶えずあなたを導いて、乾いた時にあなたの魂を満たし、あなたの骨を強くされる。あなたは潤された園のように、水の泉のようになり、その水は欺くことがない。

エペソ書5章の以下の御言葉を読んでください。

エペソ5:18 また酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ霊の中で満たされ、19 詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠しなさい。20 そしてすべての時に、すべての事に対して、わたしたちの主イエスキリストの御名の中で、神また父に感謝をささげ、

生ける水を飲む秘訣の一つは詩歌を賛美し、語り、祈ることです。次の詩歌を賛美し、語り合ってください。歌えば歌うほど、あなたは生ける水を飲むことができ、生ける水の川々があなたの内側から流れ出るようになります。

1069. Gospel - Testimony (J 698)

1. We're feed - ing on the liv - ing Bread, We're drink - ing at the
foun - tain - head; And who - so drink - eth, Je - sus said, Shall nev - er, nev - er thirst a -
gain. (C) What! never thirst again? No, never thirst again! What! never thirst again? No,
never thirst a - gain! And who - so drink - eth, Je - sus said, Shall never, nev - er thirst a - gain!

大学や大学院を卒業した後、多くの人は企業で勤め始めます。いったん企業に勤めると、同世代の人たちとの競争の中で、一部の人がマネージャーに昇進し、マネージャーの中から一部の人々がディレクターに昇進します。しかし人はマネージャーになっても、ディレクターになっても、内側が渴きます。さらにディレクターの中からほんの一部の人がボード・メンバーになりますが、人の内側の渴き感覚は、出世するに従って減少するのではなく増し加わります。これはあなたが出世する必要がない、ということを行っているわけではありません。そうではなく、あなたがどのような管理職に就くにしても、これらの成功の結果は渴きです。

あなたは若い時に主を信じ、受け入れ、生ける水を飲んでください。そして主があなたの渴きをいやし、あなたからあふれ流れて、あなたの周りの人の渴きをいやすことができますように。もしあなたがこのような人であるなら、企業の中で優れたリーダーになるので、あなたは通常の出世競争の外側にいたとしても、結局、あなたの優れたパフォーマンスとリーダーシップのゆえに出世するでしょう。あなたが先ず、神を求め、生ける水を飲めば、主があなたと共におられ、あなたの生活の必要はすべて神によって顧みられます。主に感謝します。アーメン!